

参考様式B3(自己評価等関係)

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 1月 31日

事業所名 子どもの広場今池

保護者等数(児童数)84

回収数36

7 割合

42 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	2	0	0		注意散漫にならないよう、留意していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	3	1	0		職員育成に取り組んでいきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	13	2	2		構造上難しい面もありますが、さらに配慮していきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	35	0	0	1		利用者さんのニーズや課題を支援できる計画書の作成を行います。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	5	0	3		子どもにあった活動プログラムを作成しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	9	18		状況が許されれば、社会体験活動を3~4ヶ月に1回程度企画、周知します。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	6	0	1		受付窓口にて、定期的に説明をするように努めます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	6	1	0		進捗状況、個々の状況を共有するように努め、子どもに負担がかからないよう努めます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	4	4	3		定期的に面談の機会を増やして行っていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	9	6	18		定期的に家族応援セミナーを行なっています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	7	2	10		毎週会議を開き、職員間での情報共有、迅速、適切な支援に努めていきます。対応職員が分かる安いよう配慮しています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	6	0	2		支援の終了時に短時間、保護者と情報交換をしています。その内容は毎週会議を開き、職員間で情報共有に努めています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	8	4	9		インターネット上の予約システムを使って活動内容を分かる安く発信しています。
14	個人情報に十分注意しているか	25	3	2	6		個人情報に十分注意しています。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	10	6	13		マニュアルを見やすい場所に設置します。療育中の訓練は避けていましたが今年度から実施して行きます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	7	6	18		定期的に訓練を行っています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	31	4	0	1		子どもから信頼されるように包めていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	33	3	0	0	英語が幼稚。 ピアノは楽しい	利用者からの信頼を得られる支援を行います。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。